

## これからだ、ガンバシ！3年生！！

10月末の駿台進研マーク模試を最後に、3年生が共通テスト以前(冬休み三者面談)にデータ活用が間に合う模擬試験はほぼ終了。校内模試と全統プレテストを残し、ここからいよいよ「水面下の戦い」が始まる。

「共通一次試験」開始以来、約40年ぶりの大きな変更となる大学入学共通テストも4年目。今年は3年生236名が出願。1年目は易しく、一昨年は難化。昨年は理数系科目の易化により1年目同様に。今年はどうなるか未知数だが、平均点は5割台に意図されている。兎にも角にも、国公立大学後期の発表がある3月20日頃まで、スタミナを切らさないようがんばり続けよう。

### ～ 総合選抜・推薦入試で疲弊するな！ 力にして突き進め！～

大学受験に関する、昨今の変化のひとつ。(旧)AO・推薦入試=(新)総合選抜型・学校推薦型入試の定員が急増していること。会津高校でも多くの生徒が利用する。

この入試形態は、みんなの想像以上に労力がある。すでに指導を受けて痛感している人もいると思うが、高校入試とはわけが違い、面接・プレゼン・口頭試問・小論文等の準備にかかる時間は莫大だ。高校入学時から「高い意識」があれば、その分、負担は軽減されるが、何度言葉で言われても、実際に本格的な受験期まで「なんとなく」生活してきた者にとっては、教科の学習よりも厄介だ。

さらに、指導する先生方もかなりの時間を奪われる。共通テストを含めた一般入試に向けて、各教科の指導が本格化する時期に、である。

そして、合否が出る。だいたい12月初旬までには。合格なら報われるが、そうでない場合の「切り替え」には覚悟がある。一般入試等の準備期間と並行して取り組んだ分、遅れを取り戻せなくなる可能性があるからだ。

昨今の情勢から、総合選抜・学校推薦入試利用はこれからも増加傾向だ。そして、進路実現の「高い意識」さえ備えていれば、有効活用していくべき入試形態であることも間違いない。たとえ不合格でも、その「高い意識」はその後の進路実現につながっていく。だからこそ、せっかくの高い意識を土台に、指導を受けた分、進路実現のために努力を継続するエネルギーに変えようじゃないか！

そして、これまで通り、**一般入試に挑むため**に**がんばってるみんな**に、**当たり前のアドバイス**。

- ①一日の終わりに「昨日よりもこれだけ身についた」「このことについては完璧にできるようになった」という実感を、必ず感じてから眠りにつこう。この期に及んで「今日は〇時間やった」「〇ページ進んだ」って感じだけじゃ、同じ失敗のくり返しになる。
- ②基本、受験は自分との戦いだが、勝負事であることもまた事実。戦略も戦術も持たず(使う教材がバラバラ)、相手も探らず(過去問もやらず)、攻略できるわけがない。模試の反省も忘れずに！
- ③自分の力を客観的に評価せず、ただ闇雲に猛進(妄信)しても意味はない。基礎力は？応用力は？レベルは？「これをやればなんとかなる」と思うなら、その根拠を明確にすることだ。

## 今、入試にますます必要な「高い意識」

### ● 3年は常識。1・2年生こそ必読！ ●

～みんなの、世界の、将来がかかっている。「時の話題」に注目！～

2月に実施される入試問題はいつ頃作成されるのだろう——もちろん1月じゃない。

答えは「今」。実際にはもっと早く、夏休みを利用しての作成が基本となる。今の時期に行われる総合選抜型・学校推薦型入試なら、さらに前。そこで目を向けなければならないのは、その題材。科学・テクノロジー・医療・環境・エネルギー・政治経済・国際社会・歴史・文化・スポーツ・言語・メディア・流行・忘れてならない地域社会。

英語の読解問題や現代文評論、小論文・面接などは、その分野の知識があるのとないのでは大違い。普段から社会事象に対する関心を高めておかないと、直接点数に響いてくる。逆算すると、来春入試なら、ここ数年前から今年の夏までに話題になった事柄が題材になる可能性が高いのだ。

各教室には、「〇〇〇〇年の論点100」「〇〇キーワード」の類が置いてある。空いた時間をチコッと利用して、せめて自分の関心の高い分野の項目を読んで欲しい。**新聞**は図書館2階に常備。朝日・毎日・読売に民報・民友、さらに Japan Times も。テレビやラジオの定時ニュースぐらいはチラ見してるかな？もちろん、**ネット**も方法次第で情報を得るのに効果的だ。

実際、みんなは、日々世の中で起きていることにどれほど関心があるだろうか。テレビや新聞、インターネットなどのメディアを活用しているだろうか。単に「入試の問題に出るから」ではなく、主体的に自らの生活や社会に関心を持つことは、みんなの、日本の、世界の将来にとって最も基本となる姿勢なのである。

そして、そういう人間が増え、“Act locally”を実践し、どんな形でも人類の幸福と世界の平和に貢献するようになったときこそ、会津高校本来の目標が達成されたと言えるのだ。

今、県議会議員選挙が行われている。3年生の半分は有権者。投票行動は？18歳に限ったことではない。いずれまた選挙はやってくる。にもかかわらず、「時の話題」に全く関心を持たずにグダグダ毎日過ごす。それは有権者として望ましいあり方だろうか？急速に減少する(将来を担う)若者が世の中に目を向けなくなったら、一部の独裁的指導者によって悲惨な歴史が繰り返される可能性は高くなる。

ホントは「若いうちはやりたいことをやって、それからでいい。」ってみんなに言ってやりたい。でも、現実から目を背けることはできないのだ。

視野を広げて、自信をつけて、ガンバレ会高生！

### 【 1・2年生はもうすぐ後期中間考査 】

前述の推薦・総合型選抜の多くに欠かせないのは、高校での学業成績。3年になってからその手の入試に本気になる「意識の低い」者にとっては、とりあえず「赤点回避できればいいかな」程度なのかもしれない。しかし、この進路だよりでもたびたび取り上げている普段の(不断の)努力を示すには、定期考査が最もわかりやすい機会だ。本気で取り組み、会高生！